

部位説明



●操作パネル
点火スイッチを押し、ガス開閉バルブを開くと着火。ガス供給バルブを閉じると炎が収まります。



●燃焼パン
水中バーナー方式により、実際の火災に似た燃焼状態を作り出します。



●コンパクト
操作スタンドと燃焼パンを一体化して運搬、収納が可能になりました。



●操作スタンド
燃焼パンにホースで接続しガスを供給します。市販のプロパンガスを使用しています。

オプション品



消火訓練用放射器具
(テスター5)



コンプレッサー



エアチャックセット (8m)

ilius

天ぷらなべ火災に似た燃焼状態を作り、消火を体験する装置

消火体験装置



Kesuyo

STS-3500

特許取得 特許第6112482号

装置仕様

品名	消火体験装置 (Kesuyo)
形式	STS-3500
燃料	プロパンガス ※必ず 8kg 以下のボンベをご使用下さい。 ※プロパンガスのボンベは付属されていません。
使用圧力	0.02MPa
使用消火器	訓練用 水消火器
電源	1.5V (単1乾電池)
使用時間	15秒連続燃焼で約 300回 (8kg プロパンガスボンベ 圧力 0.02MPa 使用時での自社試験による)
装置重量	操作スタンド 約 12.0kg (プロパンガスボンベは除く) 燃焼パン 約 14.5kg
装置寸法	操作スタンド W300mm × D415mm × H950mm 燃焼パン 設置時 W835mm × D370mm × H1397mm 収納時 W368mm × D370mm × H238mm

商品に関するお申し込み、お問い合わせ先はこちら

TEL (045)-482-9513

受付時間 月～金：9:00～17:30

FAX (045)-482-9514

info@ilius.co.jp

<http://www.ilius.jp/>

販売代理店

ilius
イリオス株式会社

〒225-0021
神奈川県横浜市青葉区すすき野 2-7-6
阿部ビル1F B





本物の火だから感じる熱さと怖さ。

いざという時あわてないために、リアルなシミュレーションが大切です。

Kesuyo STS-3500 の特長

リアルな消火シミュレーション

STS-3500 は実際の天ぷらなべ火災に似た燃焼状態を作り、消火を体験する装置です。

火災発生時に慌てない ためには、**実際の炎を消火する** シミュレーションが重要です。

簡単操作

- ・点火スイッチとガス開閉バルブで操作できます。
- ・水とガスを使用する装置ですので、準備や片付けに手間がかかりません。

安心設計

- ・ガス開閉バルブを閉じるとガスの供給が止まり、自然に燃焼が停止します。
- ・点火には単1乾電池を使用していますので、電源の無い場所での使用が可能です。

各部名称と操作手順



1 固定ベルトを外し
燃焼パンを
取り外します。



2 プロパンガスボンベを
操作スタンドへ乗せ、
圧力調整器を
接続します。



3 燃焼パンに脚を
3か所取り付けます。



4 燃焼パンに水を入れます。



5 燃焼パンへガス供給ホース及び
点火ケーブルを接続します。



6 プロパンガスボンベのバルブを開け、点火スイッチを
押しながらガス開閉バルブを開けます。

Kesuyo STS-3500 を体験



市民の自主防災訓練



注) 実際の天ぷらなべ火災発生時には、水は絶対にかけないでください。

ユーザーの声

20代女性

消火器の使い方を知らなかった
ので訓練できてよかった。炎が
熱いのでびっくりし、火災の怖
さがわかった。天ぷらを揚げる
とき鍋から目を離さないように
気を付けようと思った。

50代男性

飲食店を営んでいるので、
火災には十分注意しているが
もしもの時にはこの訓練が役に
立つと感じた。もっとこのよ
うな訓練を世の中に広めた方が
よいと思う。

30代男性

鍋から火が出ると、思った
以上に熱いと感じた。家庭での
火災の上位に天ぷら火災が
入っていることを知らなかった。
次回の訓練には妻も参加させ
ようと思う。

40代女性

鍋の中で泡が出ているので、
本当に揚げ物をしているみたい
でリアル。火が出たとき自分の
身長より大きな炎を見て怖かつ
た。

